

函 総 行

令和 3 年(2021年)12月 8 日

市議会議員 各位

総 務 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記のとおり資料を配付しますので、よろしくお願
いします。

記

- 函館市役所職員労働組合との交渉の概要

(総務部行政改革課)

函館市役所職員労働組合との交渉の概要

○交渉日時 令和3年(2021年)11月24日(水) 18:15～18:40

○交渉場所 市役所8階大会議室

○出席者 当局側 谷口副市長, 関係部局長, 他 計約15名

組合側 鎌田執行委員長, 他 計約40名

交渉項目	令和4年度 事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについて
交渉要旨	<p>(組合)</p> <p>10月25日の交渉以降, 各支部で支部交渉や職場集会, 意見交換会などを開催しながら, 提案に対する考え方を改めてやりとりした。</p> <p>各支部では職場実態を踏まえた様々な意見や今後に向けた検討課題というものもあった職場もあると思うが, 改めて総論的な質問をしていきたい。</p> <p>コロナワクチン接種体制について, 特に来年4月以降の接種体制や進め方, 兼務発令されている職員の取り扱いについて改めて聞きたい。</p> <p>(当局)</p> <p>3回目の接種開始ということで, 11月中旬に医療従事者から接種券の発送を開始し, 順次, 2回目接種から8ヶ月以上経過した順番で, 接種券を発送していくことになるため, 当然4月以降も接種体制というのは一定程度確保しなければならないとは考えている。</p> <p>まず, 今年度は準備や接種を進めなければならないということや, 11歳以下の接種などの検討課題があることから, 今の兼務職員は年度末まで同じ体制で行かせてもらいたいと思っている。</p> <p>現在, 専任職員5名に加え, 兼務職員11名と会計年度任用職員14名という体制で行っており, 令和4年4月以降については, 原則兼務発令を解消したいと考えている。</p> <p>新年度の体制は, これまで培ったノウハウや国の動向を踏まえて人数を詰めていきたいと考えている。</p> <p>(組合)</p> <p>各部局は, 先々が見えない中で兼務発令を受け, 応援を出しており, 応援体制を開始した当時と状況も様々に異なっていることを踏まえ, 改めて各部局の今置かれている状況の聞き取りをしながら, 年度末の体制を構築するとともに, 組合にも早めに情報提供をいただければと思う。</p> <p>次に, 子ども給付金等の話も出てきているということで, このような突発的に支援金等の業務が発生したときの体制について考え方を聞きたい。</p> <p>(当局)</p> <p>まず具体的にお話ありました子ども給付金の現金給付5万円というのは12月に児童手当支給の対象者が解っているもので, 多分年内に支給できるのではないかと考えているが, 児童手当の対象外である高校生等は対象者を</p>

把握していないので申請主義になることから、1月以降申請に応じて順次支給ということになり年内で仕事が終わらず引き続くものと考えている。

なお、クーポンで支給する5万円分や非課税世帯への10万円の給付も現時点で具体的には見えていない。

このような中で、体制について回答するのは難しいが、今年度に限って言えば、対応できる人員配置上の余力はないので業務が増える場合は必要があれば応援体制や会計年度任用職員の活用に頼らざるを得ないというのが実情である。

新年度以降も含め、突発的な業務が発生した場合は、正規職員が多少人員配置上の余力がある分にはそれを含めて対応するが、今年度と同様に正規職員の応援体制や会計年度任用職員の活用に加えて、アウトソーシングや派遣会社の活用なども含めて柔軟に対応せざるを得ないと考えている。

(組合)

アウトソーシングや派遣の活用を基本線に検討いただきたいと思うのでお願いしたい。

今回の提案の中にもあった家庭総合支援拠点の設置に関して、心理担当支援員の配置や、自治体DXを全庁的に推進していくことから情報分野の人材確保等も必要になってくると思うが、このような専門性のある職場に対しての人材の確保や今いる職員の育成方法、キャリアアップの考え方などについて伺いたい。

(当局)

専門職を仮に正規職員で雇った場合、職場の異動や昇格がないという処遇で良いのかという問題があり、それに対応するため複数の職場を用意するとなった場合、専門分野を生かさなくても良い職場への配置もあり得るなど、なかなか難しいが検討をしている。

行政課題に対応するための専門性を有する人材は現在、獣医師や保健師といった専門資格の保有を要件としている職種と、一般技術職のように資格要件はないが、特定の業務に専門的にあたる職種というものは設けている。

今後はデジタル人材や福祉分野の職は、できるだけ経験のある方や専門職が良いのではないかとということもあり、これらも含め、専門職の確保のあり方について、今後も引き続き検討していきたいと考えている。

そのような中で、具体的に業務遂行するために必要な知識経験や法令上必要となる資格要件を改めて全般的に整理した上で、資格に応じて資格を求めるのであれば給与に差をつけるなど、そのような処遇・採用方法、人材配置をどうしていくか、どういう人材育成を図っていくか、整理していくことが必要ではないかと考えている。

加えて、今いる職員が業務上有用な資格をできるだけ取得する支援制度の構築についても現在検討を進めている。

(組合)

一定の職場に何年もいるような職場という実態もあることから、今後

は、一般事務もできて専門的業務を担えるという人材が必要だということも理解するが、一方で、資格要件がないと携われないという職場もあるので、今いる職員にどう資格をとらせるのか、そういう部分もこれから大事になってくると思うことから、育成方法とかキャリアの部分も含めて是非検討していただければと思う。

最後に2点要請をさせていただきたい。

1点目は、今回、支部交渉や意見交換会をやってきた中で、管理職が思っていることと、我々職員が考えていることに乖離があり、管理職と職員との双方向のコミュニケーションというのは、本当に大事で職場を回していく上での土台だと感じた。

日常的に自分の職場でどうやったら仕事が減るのか、効率的に仕事をまわせるのか、という視点は管理職も我々職員も持たなければならないと思っている。

組合としては、管理職だけに責任を押し付けるわけではなく、日常的に意見交換等をして乖離をいくらかでも少なくし、そういうものの積み上げによって、提案というものが出されてくると考えており、加えて業務上のミスが減ることに繋がる可能性もあると思うので、なかなか職員の方から管理職にこういう場を設けてほしいとは言いにくい部分があると思うので、管理職の方にはそういう仕掛けづくりをお願いしたい。

これについては組合も含め、有効な手立てを一緒に協議していきたいのでこのような視点で何か改善できればと思うのでお願いしたい。

2点目、支部交渉や職場集会、意見交換会で様々な意見や要請等があり、その対応と特に今後検討するというようなことも回答にあったと思うので、早急に対応できるものはお願いしたい。直ちに対応できないようなものも道筋を立てながら対応するということが姿勢として確認できれば今回の提案については合意したい。

(当局)

私自身、コミュニケーションは最近不足気味ではないかと感じており、双方、確かに部下が上司に対してものを言いにくい部分もあるだろうから、管理職が率先してお互いが普段から自分たちの職場をどうするか考え話し合うべきで、そういう機会を作ってほしいと思う。

これは改めて仕掛けまでいけるかどうかかわからないが、労働管理というものを含め、話し合うようには管理職へも指導はしていきたいと思う。

それから支部交渉で出たような意見・要望を具体的にはまだ聞いていないが、色々な課題があるので、コミュニケーションを通じて、そういうことは真摯に対応をさせていただきたいと思う。

(組合)

事務事業組織機構の提案交渉から1ヶ月ということで、交渉を終えさせていただきたいと思う。

当局からの回答にもあったが、交渉や意見交換で出てきた課題等について対応して欲しく、新たな課題等も表面化してきたものもあると思うの

	<p>で、管理職には各職場で協議してもらえればと思う。</p> <p>コミュニケーションの問題は、毎年この交渉の中で出てくる話題だが、なかなか難しいと思いつつも、挨拶一つをとっても下から声かけるのではなく上から声をかけるというのも一つの手段ではないかなと思うので、お互い意識しながら日々過ごしていければと思う。</p> <p>コロナの影響にかかる自治労の調査の中でも、一人暮らしの若い人たちが、コロナ禍でコミュニケーションが希薄になるという調査結果も出ているので、特に若い職員の方に声かけをよろしくお願ひしたいと思う。</p> <p>福祉灯油等給付金の課題について、保健福祉部・子ども未来部で実施する可能性が高いのではないかなと思うが、この両部は1年以上、こうした突発的な業務を行っているので、職員は日々緊張し、業務繁忙で疲弊しているように感じており、応援体制も含めて対応するという回答もあったので、ぜひともよろしくお願ひしたい。</p> <p>今コロナについても新規感染者数が落ち着いてきており、様々なアフターコロナの取り組みというものが動き始めてきていると思うが、経済対策も福祉、貧困、格差社会等、出てくるとも言われており、これまで応援体制で、対応してきた部分も構築するのが厳しい状況が出てくるのではないかなと思っている。</p> <p>来年度以降、不測の事態に対応するためにある程度の余剰人員を持つしかなないと感じており、対応をお願ひしたい。</p> <p>(当局)</p> <p>本日のやりとりや指摘、要請、それから各支部でも出た課題、色々あると思うが、発言したことは誠意をもって対応したいと思う。</p> <p>時間がかかるものもあるので、ご理解いただきたいと思うが、今後とも貴職と協議しながら進めていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
備 考	提案どおり合意 (交渉終了)